

科目名		サブタイトル		担当教員	配置学年	単位数
法学B		身近な法律を学ぼう		井上 貴也	1年次後期	2
科目区分	基礎	キーワード	憲法、民法、商法、訴訟制度、その他の法律			
ディプロマポリシーとの対応		1. 時代や社会の要請に対応できる能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける				
事前に受講するとよい科目		法学A				
オフィスアワー		授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。				
講義の目的	法律というと難しいとか専門家のもんといった認識を持ちがちですが、私たちが日常を無事に過ごせるのも法律によるものです。社会の複雑多様化に対応して、法律の重要性は一層増しつつあります。本講義では、わが国の法律制度を概観し、社会と法の関わりを学び、社会を法的側面から理解することを目的とします。					
到達目標	本講義では、憲法を始めとするわが国の主要な法律の概要、基本理念および各法規間関係を理解することにより、実際社会の理解や日常生活上のトラブルに関して、法的な解決能力を身につけることを到達目標として講義を行います。					
講義内容	本講義では、憲法を始めとするわが国の主要な法律をとりあげ、その概要を学ぶとともに、各法律における争点、改正のポイント、裁判例についてもとりあげます。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	国家と法	国家の統治権、統治作用に関する根本原則を規律する法			
	第2講	財産と法	財産関係を規律する法の概要			
	第3講	家族と法	家族関係を規律する法の概要			
	第4講	企業と法	会社制度の概要、会社の種類			
	第5講	商取引と法	商取引の基本ルール			
	第6講	犯罪・刑罰と法	犯罪と刑罰の種類と内容			
	第7講	訴訟と法	裁判制度と訴訟手続、裁判員裁判制度			
	第8講	労働と法	使用者と労働者との関係を規律			
	第9講	情報と法	情報化社会における情報の保護			
	第10講	教育と法	教育制度の法的地位とその理念			
	第11講	医療と法	教育制度の法的地位とその理念			
	第12講	社会福祉と法	憲法第25条と法			
	第13講	環境と法	環境破壊に対する法的規制			
	第14講	国際社会と法	国際平和の維持と法的規制			
第15講	まとめ	新聞記事やニュースを素材に考えよう				
指導方法	授業は、講義形式で行います。なるべく皆さんの身近な問題、話題となった事件等を取り入れ、具体的に説明を行いません。日ごろの法律問題等に注意を払い、学習に役立てるようにして下さい。					
事前学習	本講義で学ぶ内容は、法律全般に渡るため、下記の参考文献等を参考にして、講義スケジュールの各項目について、レジュメを事前に予習して下さい。約1時間30分を目安とします。					
事後学習	授業で説明したキーワードや概念を整理しておいてください。具体的指示は、当日の授業でします。事後学習に要する時間は、目安約1時間30分です。					
成績評価方法	本試験(筆記試験)70%、平常点(授業内課題)30%の結果を総合して評価します。					
テキスト	特定のテキストは使用しません。毎回、レジュメを用意します。					
参考書籍	伊藤正巳・加藤一郎編「現代法学入門〔第4版〕」(有斐閣)1200円(+税)、「ポケット六法(令和6年度版)」(有斐閣)2200円(+税)。授業で紹介します。					
実務家教員による授業	教員	経歴				
特記事項						